

花蕾形状良好な早生ロマネスコ

予告品種

# NX-CL322

ロマネスコ

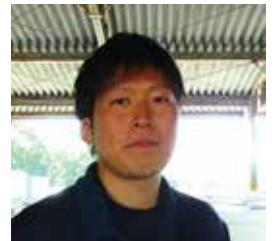
長野県諏訪郡原村は八ヶ岳と諏訪湖の間に広がる高原（標高900m～1,300m）に位置する村です。一年を通じて降水量は少なく、湿度も低いため大変さわやかな気候の地区です。

また冷涼な気候を好むセルリーにとっては最適な生産地帯で、夏場全国の市場に出回るセルリーのほとんどがJA信州諏訪産であり、夏季セルリーの生産・出荷量ともに日本一の地域です。



## 産地背景

夏秋どり野菜の多いJA信州諏訪管内では、以前からロマネスコは「スパイラル」や他社品種を使っていますが、出荷の前進化を狙っていたため、生育の早い早生種のロマネスコが求められていました。その様な中で、渡辺農事の「NX-CL322」ロマネスコを試験しました。



JA信州諏訪 営農部 原村営農センター 営農指導係 長田 尚三 様

## 耕種概要

- 播種：3月15日～ ○定植：4月15日～ ○収穫：6月20日～ ○株間36cm×条間40cm
- 施肥：N:P:K=20kg-18kg-18kg \*10a当たり 出荷形態：L8玉、2L6玉 段ボール箱出荷

## 評価

ロマネスコの前進化を目指していたため、「スパイラル」だと難しい面があったが、「NX-CL322」のおかげで、定植後65日位で収穫でき、出荷も前進できたので早生種は大変有難い。株の倒伏も少なく、収穫作業性、花蕾の形、揃いも大変満足することができ、出荷先からも大好評でした。今後の本格的な使用を検討していくと共に、面積拡大を狙っていきたい。

**初夏どりでも非常にきれいな花蕾です！**



**裸種子・コート各1,000粒規格ございます！詳しい作型・特性はP18をご覧ください！**